

サステナビリティに関する取り組み推進方針

● 東京建物グループのサステナビリティに関する取り組み推進

当社グループは、将来にわたり推進する主なサステナビリティに関する取り組みとそれらを通じて実現すべき事項を掲げた「東京建物グループサステナビリティ方針」をグループ共通で制定するとともに、本方針に掲げる内容をグループ全体で共有し、浸透させることで、グループ一体となってサステナビリティに関する取り組みを推進しています。

また、事業を通じて実現する社会との共有価値を意識し、「社会価値創出」と「価値創造基盤」の観点から、サステナビリティに関する取り組みにつながる14のマテリアリティを特定しています。

2030年を見据えた長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」においては、事業を通じて「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で両立することで、すべてのステークホルダーにとっての「いい会社」を目指すことを掲げています。また、長期ビジョンの実現に向けて策定した現中計では、基本方針において「成長を支える経営インフラの高度化」を掲げ、その要素の一つとして「サステナビリティ（環境・社会・ガバナンス）」を特定しています。

これらに基づき、グループ一体となって様々なサステナビリティに関する取り組みを推進することで、企業としての成長を実現するとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

東京建物グループ サステナビリティ方針

私たち東京建物グループは、持続可能な社会の実現に向けて、グループ理念「信頼を未来へ」に基づき、事業を通じてサステナビリティの取り組みを推進していきます。そのために、グループ役職員一人ひとりが、将来にわたり社会課題と誠実に向き合うとともに、すべてのステークホルダーと信頼関係および協力関係を築いていきます。

● 地球と共生する事業活動を通じて、持続可能な環境の実現に貢献していきます。

私たちは、環境に配慮した建物の開発や維持管理およびサービスの提供、都市における緑の創出と保全、脱炭素社会の推進に資するエネルギーの活用、循環型社会の推進に寄与する資源の活用、ならびに気候変動による自然災害への対応等を通じて、将来世代が安全・安心を実感することができ、快適でやすらぎのある暮らしを享受できる持続可能な環境の実現に貢献していきます。

● 「人」に寄り添い、だれもがいきいきと暮らせる社会の実現に貢献していきます。

私たちは、従業員の働きがいと働きやすさを向上させるための人材育成、健康増進およびダイバーシティ&インクルージョンの実践、お客様を第一に考えた商品・サービスの提供、地域社会に寄り添うまちづくり、そしてあらゆる人の価値観や人権の尊重に関する取り組み等を通じて、だれもがいきいきと暮らせる社会の実現に貢献していきます。

● 健全で公正な企業活動を通じて、持続的な企業価値の向上を実現していきます。

私たちは、法令、社会規範および企業倫理の遵守を徹底するとともに、リスクマネジメントの強化や適切な情報開示による透明性の確保等を通じてガバナンスのさらなる高度化に取り組むことにより、すべてのステークホルダーの信頼や期待に応え、持続的な企業価値の向上を実現していきます。

● 主要なイニシアチブへの参加・外部評価

当社グループが参加している主要なイニシアチブは以下のとおりです。また、記載のESGインデックス・ベンチマークなどから選定・評価を受けています。

評価機関・取り組み／インデックス	参加状況・評価等
国連グローバル・コンパクト（UNGC）	参加
気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）	賛同
自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）	賛同
SBTイニシアチブ（SBTi）	認定 （再認定）
RE100	参加
CDP気候変動	A
GRESBスタンディング・インベストメント・ベンチマーク	5スター
健康経営優良法人認定制度	健康経営優良法人認定
えるぼし	認定
くるみん	認定
FTSE4Good Index Series	選定
FTSE JPX Blossom Japan Index	選定
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index	
Morningstar	
日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 （除くREIT）（GenDi J）	
MSCI 日本株ESGセレクト・リーダーズ指数	
MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）	GPIFが採用する日本株の ESG指数すべての構成銘柄に選定
S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数	



サステナビリティファイナンス

当社は、国際資本市場協会（ICMA）などが言及するグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、グリーンローン原則およびソーシャルローン原則における4つの要素（調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定プロセス、調達資金の管理、レポーティング）に適合する複数のファイナンス・フレームワークを策定し、これに沿ったグリーンローンによる資金調達およびグリーンボンド・サステナビリティボンドの発行を継続的にを行っています。

グリーンボンド・サステナビリティボンドの発行残高（2025年12月末時点）

2,100億円（ハイブリッド社債1,400億円を含む）